

☆ 広報りくぜんたかた Takata

4

April 2021
No.1097



【表紙】

未来を灯す夢あかり

(3.11 夢あかり

～私たちは忘れない 感謝と共に未来に生きる～(3月11日)



陸前高田市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

東日本
大震災津波
追悼式

震災から10年
復興へ新たな誓い

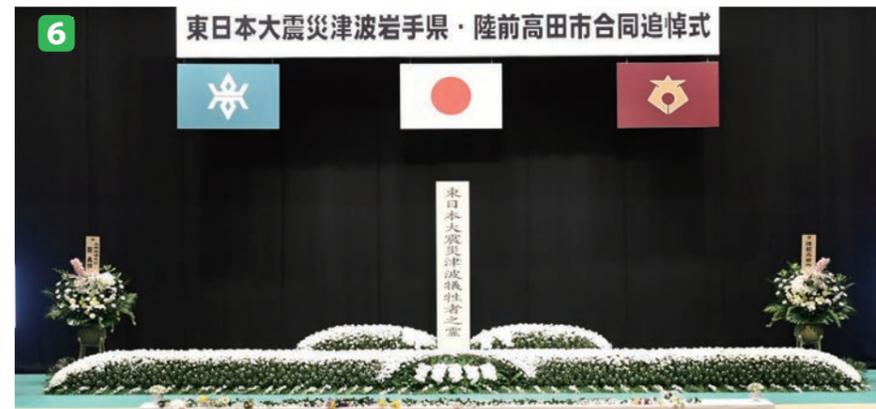


1_ 東日本大震災から10年を迎えた追悼式当日に、多くの人が訪れた高田松原津波復興記念公園
2_ それぞれの思いを胸に、犠牲になられた人への哀悼の祈りを込めて献花し、静かに手を合わせる参列者
3_ 遺族を代表して追悼の言葉を述べた丹野晋太郎さん
4_ 多くの花が供えられていた高田松原津波復興記念公園の海を望む場に設置されている献花台
5_ 約400人が参列した市民文化会館
6_ 市民文化会館内に設置された祭壇

参列者は、亡き家族や知人を思い、献花台に花を添え、静かに手を合わせて、一日も早いふるさとの復興を誓いました。



中では「節目」という言葉が頻繁に使われているが、被災地や遺族の皆さまには「節目」など無いのかもしれない。私たちはこれからもずっと、犠牲になられた方々のことを忘れず、その思いを大切にしながら、ふるさと陸前高田に明るい未来がもたらされるよう全力で頑張っていく」と式辞を述べました。遺族を代表して丹野晋太郎さん(25) 盛岡市(震災当時・高田町) 〓



平 成23年3月11日午後2時46分に発生し、震災関連死を含む1,559人と行方不明者202人を出すなど、市に未曾有の被害をもたらした東日本大震災から10年。「東日本大震災津波岩手県・陸前高田市合同追悼式」が高田松原津波復興記念公園と市民文化会館の2会場で行われました。

新型コロナウイルス感染症対策のため式典への入場を制限しての開催となりましたが、献花台が設けられた市民文化会館には約400人が参列し、午後2時46分から行われた政府主催の追悼式の中継に合わせ、参列者全員で黙とうしました。戸羽太市長は「震災から10年を迎えることで、世の

令和3年度 施政方針

誰もが将来に希望を抱けるような

「ワクワク」する取り組みにもチャレンジ

令和3年市議会第1回定例会（3月定例会）は、2月25日から3月19日まで開かれ、初日に戸羽太市長が施政方針を述べました。「安心して自分らしく暮らせるまち」「夢と希望と愛に満ち 次世代につながる 共生と交流のまち 陸前高田」の実現に向け、市民の皆様とともに歩んでまいります」と決意表明しました。ここでは、その内容の一部を抜粋して紹介します。（施政方針演述の全文は市ホームページに掲載しています。）



基本施策

①SDGs（持続可能な開発目標）の達成と持続可能な地域づくりに向け
た取り組みを推進

SDGsの推進につきましては、市民一人ひとりが自分事として、出来ることから少しずつ取り組んでいくことが最も重要であることから、あらゆる手段を活用し、市民の皆様へ必要な情報を提供しながら、私たちの次の世代においても不自由な生活が送れるよう、経済・社会・環境をめぐる広範な課題解決につながる取り組みを進めてまいります。

②新型コロナウイルス感染症の収束後を見据えた、賑わいの創出と交流人口や関係人口の創出・拡大

友好協定を締結した名古屋や米国フレセントシティ、東京2020オリンピック・パラリンピックにおける復興ありがとうホストタウンとして登録されたシンガポール共和国などとのつながりの促進や発展支援などの効果的な交流・連携を引き続き進めてまいります。新型コロナウイルス感染症の収束後を見据えつつ、市外からの来訪者の増加による賑わいの創出や交流人口の拡大を図るとともに、東日本震災関連施設の積極的な活用やパークガイドなどの連携に

より、市内全域を防災・減災を学べるフィールドとすることで、震災の記憶と教訓の伝承に努めてまいります。

産業の担い手確保、産業振興と雇用の創出を促進

▼農業の振興 有機・循環型社会をテーマにしたオーガニックランドの民間事業者による整備を支援するほか、ピーカンナツの商業栽培拠点化に向け、新たな産業の創出に努めるとともに、農産物のブランド化、6次産業化を推進し、農業の活性化と高付加価値化に向けた取り組みを進めてまいります。

▼林業の振興 森林資源の活用方法の検討や地域木材の利活用促進により、市民参加型の森づくりと持続可能な地域林業の振興を図ってまいります。

▼水産業の推進 養殖漁業の振興や安定した生産活動の拡



③地域循環型経済の推進と6次産業化による地場産品の高付加価値化、移住・定住や起業家支援による地域

まちづくり総合計画に掲げる8つの基本目標における主要施策

①復興の確実な推進と誰もが安心して暮らすまちづくり

震災復興計画を継承し、継続して東日本大震災からの復興に取り組み、再び人命や財産が失われることのないよう、円滑な避難行動を確保する道路網の整備をあわせた多重防災型の災害に強い安全なまちづくりのため、復旧・復興事業の一日も早い完遂に向けて事業を推進するほか、住宅再建道路工事支援事業を継続することにより、被災した方の再建を支援してまいります。

▼防災集団移転促進事業 移転者に対し土地の購入などの助成を行うとともに、住宅団地の空き区画の解消に向け、被災の有無を問わず市内外の住民も含めた一般分譲を推進するとともに、取得した移転元地の適正な維持管理に努め、土地の有効活用を図ってまいります。

▼被災市街地復興土地区画整理関連事業 宅地の引き渡しや全て完了し、新年度においては換地処分を進めるとともに、土地の活用を促進して

②快適に気持ちよく暮らすまちづくり

安全に、そして安心して生活ができるよう、道路、河川などの整備を進めてまいります。

▼市道 小友小学校の通学路となつている柳沢和方線などの整備を順次進めるほか、指定緊急避難所に通じる薬師1号線の改良事業について早期完了を目指すとともに、市道湊福伏線要谷橋の補修や高畑相川線の舗装修繕など、道路構造物の長寿命化を進めてまいります。

▼河川 歩道整備とあわせた横田水路の改修事業を行うとともに、相川沢川、川原川、堂の前沢川および越沢沢川の護岸整備を進めてまいります。

▼公共交通 中心市街地における新たな道路の供用開始や要望に即した路線、ダイヤの見直しを行うことにより、速達性や利便性の向上を図ってまいります。

中心市街地と市内観光施設や道の駅高田松原、民間商業

施設などを結び交通につまみしては、電動バイクレンタル事業やEVレンタカー事業などの取り組みの促進に加え、

時速20km未満で公道を走るこが可能なグリーンスローモビリティのバス型車両の本格導入に向けた手続きを進めるほか、高田松原津波復興祈念公園内の移動手段として、カート型車両の活用を検討するため、実証実験を行ってまいります。



③安全・安心で環境にやさしいまちづくり

▼ハザードマップの作成 大雨による洪水および土砂災害

から命を守るため、想定最大規模の降雨を反映し、土砂災害が発生する可能性の高い危険箇所を示したハザードマップを作成し、該当地区において全戸配布を行ってまいります。

▼地域防災計画の全体的な見直し 緊急避難場所や指定避難所となり得る新たな場所の確保に努めるとともに、地域防災力の向上を図るため、自主防災組織の活性化および未結成地区の解消を目指し、自主防災組織リーダー研修会や防災マイスター養成講座を開催してまいります。

④子どもたちを健やかに育むまちづくり

子育て家庭の生活実態や意向を十分に踏まえた、保育の充実に努めるとともに、全国的な課題である保育士確保の課題につきましても、保育従事者の養成を目的とした子育て支援員研修を継続し、保育士および保育体制の確保に努めてまいります。

▼子育て費用の負担軽減 ひとり親世帯および障がい者のいる世帯の保育料無償化などを実施し、保護者の負担軽減



に努めてまいります。

▼児童の健全育成 児童虐待やDVなどの家庭問題への対応として相談しやすい体制整備を図り、保護者に対し子どもとの関わり方や、相談窓口などをお知らせするパンフレットを配布するなど、引き続き啓発活動に努め、地域で子どもを見守る体制づくりを充実してまいります。

▼放課後児童の居場所の創出 子ども食堂など子どもの居場所づくり事業への支援を引き続き実施しながら、進学時などの経済的負担を軽減するため制服のリユース事業を新たに実施し、子育て応援事業を推進してまいります。

⑤ともに支え、健康に暮らすまちづくり

「ノーマライゼーション」という言葉の知らないまちづくりを進めるため、個人店舗などに対しては、ユニバーサルデザインのお店認証制度を活用し、みんなにやさしいまちづくり・お店づくりを推進してまいります。

▼すべての人がスポーツに親しむ環境の整備 スポーツを通じた共生のまちづくりの実現のため、障がい者スポーツを含めた各種大会やスポーツ体験教室を開催し、障がいの有無や年齢、性別に関わらず、スポーツを楽しみ、交流できる機会の提供に努めてまいります。

▼共生のまちづくりの推進 移動困難者の社会参加や、病院などを支援することにより、生活の向上を図るため、引き続きタクシー料金の一部助成を実施してまいります。

▼安心できる医療・介護・福祉体制の整備 新型コロナウイルス感染症の収束と日常の安心を取り戻すことを最優先に進め、国および県とともに、新型コロナウイルスワクチンの接種体制構築を進めてまいります。

⑥市民と築く交流と連携の住みよいまちづくり

地域の課題解決のために、地域住民が自ら積極的に取り組み、創意工夫することにより、持続性の高い活力ある地域コミュニティの形成を図るため、地域交付金制度を継続し、市民と行政が互いの特性や長所を生かした協働によるまちづくりの推進を図ってまいります。



▼友好都市との交流や都市間交流の促進 名古屋市やクレスントシティ市をはじめ、本市を支援していただいている個別自治体や、川崎フロンターレ様、東北楽天ゴールデンイーグルス様とのさまざまな交流やイベント開催支援などについて、新型コロナウイルス

ル感染症の感染状況を見定めながら、取り組んでまいります。

▼移住・定住の促進 空き家バンクや移住相談者を対象としたワンストップ窓口の運営、定住者とコミュニティを結び交流会などの開催に加え、オンラインを活用した移住定住イベントや企業合同説明会などを積極的に行うことで、総合的な取り組みを推進してまいります。

⑦活気に満ちあふれ豊かに暮らすまちづくり

▼農業の振興 担い手の育成に向け、共同で営農指導や経営支援を行い、併せて農業次世代人材投資資金などを活用しながら新規就農者の確保と育成に努めてまいります。

▼ピーカンナッツ・プロジェクト プロジェクトの具現化に向け、苗木育成研究施設を活用し、本市の気候にあった品種の選定や栽培技術の確立を推進してまいります。

▼林業の振興 地域木材の利活用促進を図り、林業の担い手対策として、自伐型林業の従事者を引き続き支援し、事業モデルの構築とその普及を図

るとともに、再生可能エネルギーである木質バイオマスなどでの間伐材の活用を引き続き検討してまいります。

▼漁港の整備 漁業者の利便性と作業の効率性の向上のための基盤を整備し、現在整備中の防波堤に付帯する漁港施設について、早期復旧完了に向けて工事を進めてまいります。

▼水産業の振興 養殖漁業の安定した生産活動の拡充と、全国の消費者への安全・安心な水産物の出荷体制の確立を図るため、引き続き貝毒などの検査費用への支援や、特定養殖共済への加入促進を行うてまいります。

▼商工業の振興 新型コロナウイルス感染症による市内経済への影響を逐一把握し、市内事業者の事業継続に資する支援策を適時適切に講じてまいります。また土地区画整理事業で整備した土地の利用促進につきましては、積極的なマッチングに取り組み、本市の気候や環境、まちづくりに合った企業誘致や、設備の近代化に伴う機械装置などの整備支援により中小企業の経営安定化を支援するほか、地産

地消を戦力的に推進し地域経済の持続可能性を高めるとともに、地場産品の6次産業化を推進し、オンライン販売の活用などによる販路拡大に努めてまいります。

▼観光の振興 高田松原海岸の工事終了に伴い、高田松原海水浴場を再開するとともに、さらなる交流人口の拡大に向け、新たに高田松原津波復興祈念公園内でのガイド事業を創設し、震災遺構の見学を通じて、多くの来訪者に震災の記憶と教訓を伝えてまいります。

⑧市民にわかりやすく健全な行政運営

限られた人員と予算の中でさまざまな行政ニーズに対応するため、職員一人ひとりが日頃から知恵を絞り、常に業務の効率化や見直しを意識しながら仕事に取り組みでいくことが重要であると考えているところであり、引き続き県内自治体や名古屋市などからの職員派遣によるご支援をいただきながら、復興完遂に向けて、職員一丸となって全力を挙げて取り組んでまいります。

教育行政方針

子どもたちひとりひとりに寄り添った取り組みを推進

市教育委員会では、東日本大震災からこれまで、被災した学校施設や、社会教育施設の復旧に取り組み、現在は、市立博物館のみとなり、工事を進めているところでありま

▼社会でたくましく生き抜いていく力の育成 物事を正しく理解し学びに向かうための確かな学力、他者との協働の基盤となる豊かな心、学習をはじめとするさまざまな活動を支える健やかな体を育む教育を目標とし、社会の変化に対応する教育、夢と希望を拓くキャリア教育、グローバル人材を育成する教育、自らの命を守り抜く防災教育の推進を図るとともに、一人一台タブレット型端末の導入に伴い、急速な情報化社会にも対応できるよう、ICT機器の活用にも積極的に取り組んでまいります。

②一人ひとりを大切に！ 学校教育の推進

▼心のケア 長期的な視点から継続して支援していく必要があることから、引き続きカウンセラーを配置し、子どもたちの心のケアに取り組んでまいります。



③学校、家庭、地域が一体となった教育の推進

学校と地域住民などが力を合わせて学校運営に取り組むことが可能となる地域とともにある学校への転換を図るため、各小中学校を単位としてコ



▼安心・安全な学校教育環境の整備

通学路の安全確保について通学路合同点検を実施し、危険個所の把握・改善に向け、対策を講じているところであり、新年度よりスクールバス運行方法の変更もあることから、児童生徒が安全に登下校できるよう、なお一層努めてまいります。

④人生を豊かにする生涯学習の推進

生涯学習および社会教育分野における施策の推進につきまして、これまでの「個のまなび」に加え、地域づくり、まちづくりと連動させた取り組みが必要となってくることから、市民が生涯を通じて学び続けられるよう、多様な学びの機会の充実を推進するとともに、学びの成果を地域づくりに生かせるよう、学びと地域活動との循環の取り組みを進め、幅広い学習機会の提供に引き続き取り組んでまいります。

⑤多様で個性ある文化の創造

▼文化財の保存と活用 「豊かな自然・歴史・文化の価値に気づき・つたえ・活かす」を基本方針に据え、本市の持つ魅力ある文化資源をまちづくりや地域づくりに活用し、展示や体験学習とおして子



⑥生涯スポーツの推進

学校体育施設を地域に開放し、スポーツ活動の場を提供するなど、市民の生涯スポーツの推進に取り組んでまいります。

まちづくり総合計画

令和3年度予算主要事業内容

「まちづくり総合計画」で掲げる基本目標ごとの主な事業内容についてご紹介します。

なお、市の財政状況は、市ホームページでも公開しています。

URL：https://www.city.rikuzentakata.iwate.jp/shisei_shinokeikaku/shinogaiyo/zaisei/index.html



目標1 復興の確実な推進と誰もが安心して暮らすまちづくり

被災した世帯に対する住宅再建の補助金
1億1,637万円
住宅再建などに伴うコミュニティ形成の支援
3,137万円
計22事業 4億6,648万円

目標2 快適に気持ちよく暮らすまちづくり

市内の公共交通の運行に対する補助など
6,514万円
NEW 高田松原津波復興祈念公園オープン式典開催負担金
156万円
計47事業 27億5,094万円

目標3 安全・安心で環境にやさしいまちづくり

NEW グリーンスローモビリティ導入のための車両購入費など
2,522万円
NEW 竹駒分団第2部消防屯所移転建設のための用地造成
工事費
2,485万円
計37事業 7億560万円



グリーン
スローモビ
リティ実証
運行の様子

目標4 子どもたちを健やかに育むまちづくり

放課後児童クラブ運営費に対する補助金
7,267万円
NEW 制服のリユース事業
374万円
計72事業 16億5,573万円

目標5 ともに支え、健康に暮らすまちづくり

NEW 新型コロナワクチン接種のための経費
8,800万円
NEW 高齢者などへの見守りを主とした配食サービスの実施
1,886万円
計54事業 29億28万円

目標6 市民と築く交流と連携の住みよいまちづくり

オリンピック・パラリンピック関連イベントの実施
1,680万円
NEW 関係人口拡大のためのイベントや移住体験などの実施
594万円
計19事業 2億3,983万円



高齢者などへの配食サービスの様子

目標7 活気に満ちあふれ豊かに暮らすまちづくり

NEW ウニの養殖事業に対する補助金
200万円
NEW 高校生を対象に市内事業者の見学体験などの実施
100万円
計83事業 18億7,276万円

目標8 市民にわかりやすく健全な行財政運営

NEW 旧庁舎の解体に要する経費
2億8,655万円
計31事業 57億3,366万円

その他（人件費、管理事務経費など）

81事業 20億5,672万円
総計446事業 183億8,200万円

一般会計 183億8,200万円 ~復興後を見据え72.6%減~

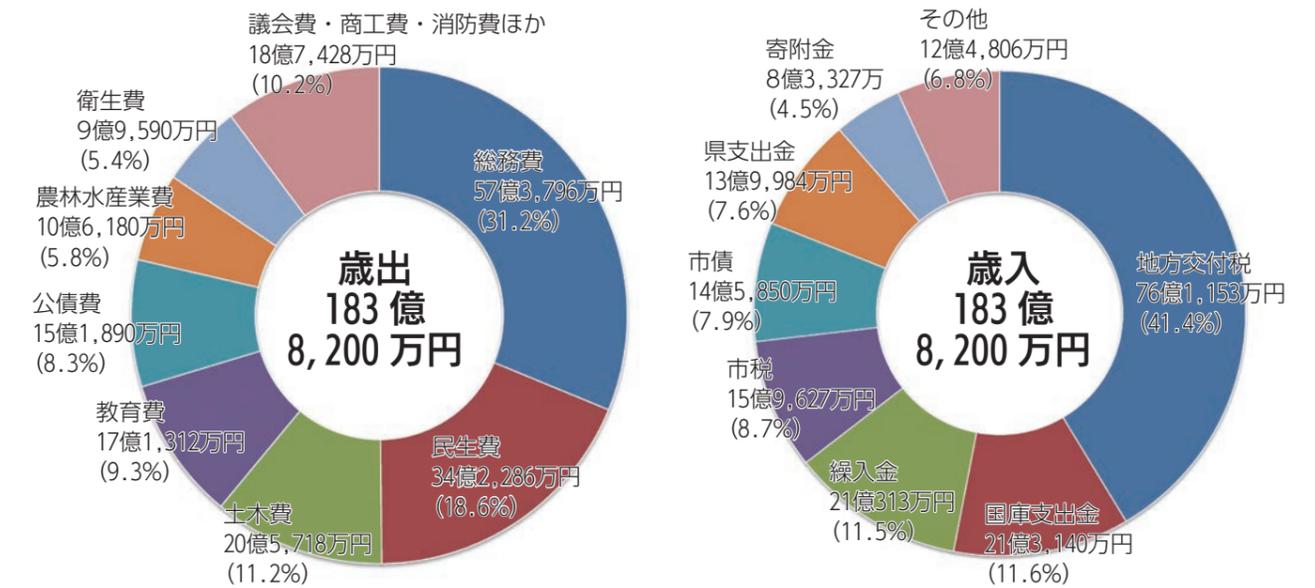
令和3年度の一般・特別・企業会計の各予算が市議会で可決されました。一般会計183億8,200万円、特別会計58億6,768万円、総額242億4,968万円を計上しました。

復旧・復興事業が概ね完了した本年度については、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う市税などの減少により、財源に限られる中で住民ニーズに応え、復興後を見据えた予算構成としています。また、引き続き「まちづくり総合計画」を基にした各種施策を展開し、「ノーマライゼーションという言葉のいらぬまちづくり」および「次世代につなげる持続可能なまちづくり」を推進します。



次世代を担う、元気いっぱいの子どもたち

一般会計 対前年度比▲72.6% ()は構成比です。



市役所新庁舎

特別・企業会計

会計名	予算額	前年度当初比
特別会計		
下水道事業	5億3,243万円	-17.3%
農業集落排水事業	6,340万円	-4.4%
漁業集落排水事業	9,267万円	+19.6%
国民健康保険事業勘定	21億9,513万円	-4.2%
診療施設勘定	1億6,681万円	-21.1%
後期高齢者医療	2億4,283万円	+2.4%
介護保健事業勘定	25億5,604万円	-4.0%
介護サービス事業勘定	1,837万円	+7.6%
合計	58億6,768万円	-5.5%
企業会計		
水道事業		
収益的収入	6億957万円	-3.8%
収益的支出	6億284万円	-3.3%
資本的収入	2億5,725万円	-61.8%
資本的支出	3億7,227万円	-51.6%

問い合わせ先 市役所財政課財政係(内線199)

市では、4月1日付で定期人事異動を発令しました。
今回は異動者のみの掲載とし、職員配置などについては、広報りくぜんたかた5月号でお知らせします。



部長級 (3人)

▼福祉部長兼保健課長：千葉恭一▼建設部長兼建設課長兼復興支援室長：菅野誠▼教育委員会教育次長兼管理課長：細谷勇次

課長級 (7人)

【福祉部】▼福祉課長兼地域包括支援センター所長兼被災者支援室長：佐々木学
【市民協働部】▼市民課長：山本郁夫【地域振興部】▼農林課長兼農業委員会事務局長：大友真也【建設部】▼都市計画課長：高橋宏紀▼上下水道課長兼水道事業所長：高橋良明【会計課】▼会計管理者兼会計課長：中山雅之【監査】▼監査委員事務局局長：吉田志真(昇任)

課長補佐級 (16人)

【政策推進室】▼政策推進室長補佐：小野寺一典【総務部】▼財政課長補佐：佐々木伸哉【福祉部】▼保健課長補佐兼国保係長：白井秀子▼福祉課長補佐兼地域包括支援センター所長補佐兼社会福祉士：馬場勝基▼子ども未来課

係長級 (28人)

長補佐兼子育て支援係長：佐藤勝也【市民協働部】▼まちづくり推進課長補佐兼コミュニティ係長：佐々木真理(昇任)▼市民課長補佐：菅野雅彦▼税務課長補佐兼市民税係長：佐々木賢也(昇任)▼税務課副主幹兼資産税係長：岡淵貴悦【地域振興部】▼スポーツ交流推進室長補佐兼総合交流センター所長兼B&G海洋センター所長：村上充【建設部】▼復興支援室長補佐：村上幸義▼上下水道課副主幹兼業務係長：大和田昌利▼上下水道課長補佐：小泉剛志▼上下水道課副主幹：佐々木清敏【教育委員会】▼管理課長補佐兼管理係長：青山豊英【農業委員会事務局】▼事務局長補佐：菅野光二

退職 (14人)

▼堺伸也(建設部長兼都市計画課長)▼大和田浩之(市民協働部市民課主幹兼課長補佐兼被災者支援室長補佐)▼小笠原淳(会計管理者兼会計課長)▼村上弘人(監査委員事務局局長)▼岩井直路(広田診療所所長)▼大林孝典(地域振興部商政課長補佐兼ブランド推進係長)▼菅原正弘(農業委員会事務局長補佐)▼武田知子(福祉部保健福祉課包括支援センター係長)▼志田泰晟(消防署消防士)▼柴田一枝(福祉部保健福祉課主事)▼菅野玲奈(福祉部保健福祉課主事)▼齊藤正俊(地域振興部商政課主事)▼高橋絵里(復興局市街地整備課主事)▼志賀美樹(図書館主事)

転入 (1人)

【教育委員会】▼学校教育課長兼教育研究所長兼学校給食センター所長：関戸文則(県教育委員会からの派遣)

割愛 (1人)

▼厚生労働省子ども家庭局総務課長補佐：齋藤晴美(福祉部長)

転出 (1人)

▼千葉賢一(学校教育課長兼教育研究所長兼学校給食センター所長) 県教育委員会からの派遣期間満了

4月1日付で新教育長に山田市雄氏が就任しました。任期は4年9月30日までです。

【山田教育長の略歴】

昭和27年生まれ(米崎町出身)。早稲田大学を卒業後、昭和50年から高等学校教諭、平成10年から県教委事務局で教育行政を推進。平成18年から釜石南高、一関一高、盛岡三高などで校長を歴任。定年退職後平成24年から29年まで本市教育長。



山田教育長(69)

市役所からのHOT LINE

宝くじ助成制度が自主防災組織活動の強化に役立てられています

自治総合センターでは、宝くじの社会貢献事業として、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備、安全な地域づくりと共生のまちづくりなどに対して助成を行っています。市では昨年度、長部自主防災会福伏支部が本制度を活用し、防災活動に必要な有線放送設備を整備しましたのでお知らせします。



長部自主防災会福伏支部では、有線放送設備を整備することにより、市の防災無線の補完設備とするほか、会員の防災意識の向上に役立てました。



問い合わせ先 市役所防災課(内線603)

主事級 (39人)

永▼高田保育所主任保育士：熊谷公子、村上雪絵▼小友保育所主任保育士：吉田和枝、松田純枝▼気仙保育所主任保育士：中野亜紀、白山理奈【市民協働部】▼まちづくり推進課生活環境係長：小野勝彦▼まちづくり推進課主査：佐々木英治▼税務課収納係長：千葉祐子【地域振興部】▼商政課ブランド推進係長：遠野正隆▼農林課林政係長：阿部将人▼農林課主任：鈴木貴樹、及川麻美(昇任)【建設部】▼建設課管理係長：畠山幸也▼都市計画課区画整理係長：佐藤賢▼上下水道課下水道係長：新沼和人▼上下水道課工務給水係長：長野貴治▼上下水道課主査：佐々木武晴▼上下水道課主任：金野隆博【農業委員会事務局】▼事務局主査：佐藤彰

消防職 (4人)

【消防署】▼消防司令補兼通信指令係長：佐々木秀樹▼消防司令補兼救急救助係長：戸羽一将▼消防司令補兼主任：村上祐二(昇任)、権藤雄(昇任)

再任用 (1人)

▼地域振興部長：阿部勝

新採用職員 (20人)

【市民協働部】▼まちづくり推進課主任：松木翔【総務部】▼財政課主事：



市内小中学校卒業式

256人が迎える巣立ちの春



保護者、先生、在校生へ感謝の気持ちを込め合唱をする卒業生

市内小中学校の卒業式は3月16日(火)、19日(金)にそれぞれ行われました。

横田小学校(城生野成則校長、児童52人)では3月19日(金)、卒業式が行われ、保護者や先生、在校生らに見守られ卒業証書を受け取った卒業生11人は、横田小学校での6年分の感謝と、新たなステージへの希望を胸に学び舎を巣立ちました。

今年の市内小中学校の卒業生は小学校が8校122人、中学校が2校134人でした。

おめでとうございます

～令和2年度陸前高田市教育委員会表彰～



3月23日(火)に行われた昨年度の教育委員会表彰で、長年にわたり市の社会教育、学校教育の向上に貢献された方々を表彰しました。

【社会教育功労】

◆鳴石が丘クラブ(高田町)

平成14年4月、鳴石が丘町内会「年長部」が児童の登下校に合わせ見守り活動を始め、現在に至るまで地域の子どもの安全と成長を見守る活動を継続し、社会教育の振興に貢献されています。

◆吉田 豊司さん(小友町)

平成19年6月から令和2年3月までの長きにわたり、小友公民館長として公民館活動の円滑な運営に努め、地域の社会教育の振興に貢献されています。

◆菅野 征一さん(気仙町)

平成24年4月から令和2年4月までの長きにわたり、長部公民館長として公民館活動の円滑な運営に努めただけでなく、地域の伝統芸能である「長部大漁唄いあげ乗付け唄」の保存にも尽力し、世代間交流の活動に貢献されています。

【学校教育功労】

◆金野 良則さん(高田町)

平成9年から学校薬剤師として、19年以上の長きにわたり、本市の小中学校の児童生徒の就学環境の安全や薬物に関する正しい知識の啓発など、学校保健の推進に貢献されています。



令和2年度陸前高田市教育委員会表彰
(左から)鳴石が丘クラブ代表 菅野和典さん、吉田さん、大久保教育長、菅野さん、金野さん



教育への貢献を
たたえる大久保教育長

県立野外活動センターで桜の植樹会
愛される場所となるように



2月17日(水)広田町で整備が進められている「県立野外活動センター(愛称:ひろたハマラインパーク)」で広田小学校の6年生19人による桜の植樹会が行われました。

植樹会は同施設の造成工事を請け負った豊島建設が企画。用意された桜の木は、樹齢3年のソメイヨシノで、子どもたちはそれぞれ苗木を植え、自分の名前とメッセージを書いたプレートに木にかけました。参加した菅野修生くんは「桜の木が大きくなったら、今度はみんなで花見に来てみたい」と話していました。



桜の木を植える広田小学校の子どもたち

追悼そして多くの支援に感謝の気持ち込め

シンボルロードを照らす夢あかり



無数のキャンドルライトなどに照らされたシンボルロード

3月11日(日)ふるさとこころの復興応援隊による「3.11夢あかり～私たちは忘れない 感謝と共に未来に生きる～」が市道曲松中和野線(通称:シンボルロード)で行なわれ、数えきれない数のキャンドルライトなどによる暖かな光りがシンボルロードを照らしました。

代表の根本ミカさんは「震災の犠牲になられた方への追悼と、これまでいただいた多くの支援や励ましの言葉を決して忘れることなく、今後は世界中で起こっている自然災害にも目を向け、各地で起こる災害へ心を寄せ、希望のあふれる未来となるよう、この活動を続けていきたい」と強い想いを話していました。

たくさんの想いをつむぐため

つむぐ～イルミネーション2021～



「つむぐ実行委員会」による、キャンドルポットやミラーボールのオブジェなどを使用したイルミネーションのイベントが3月6日(土)、7日(日)、11日(水)にまちなか広場で行われました。

同イベントは、震災の犠牲者やその遺族など多くの思いに寄り添いたいとの思いで、平成26年から毎年開催。今年は同実行委員会メンバーのほか、市内の中学生や企業などの協力によりキャンドルポットなどのイルミネーションを制作。実行委員は「毎年たくさんの人に支えられ開催することができ、本当に嬉しく思う。この活動を通し、震災を思い出すきっかけや、たくさんの人たちの想いをつむぐことができるようなイベントとして、今後も継続して開催していきたい」と話していました。



まちなか広場を照らすミラーボールのオブジェ



むしばのない子あつまれ!

(2月25日・3歳6カ月児健診で虫歯のなかった子を紹介)



ほそや ゆな 細谷 有那ちゃん (米崎町)



かんの なぎ 菅野 凧ちゃん (気仙町)



うめざわ みゆ 梅澤 美優ちゃん (広田町)



こんの りょうか 紺野 涼楓ちゃん (小友町)



かんの やまと 菅野 大和くん (高田町)



さとう かずひさ 佐藤 和寿くん (米崎町)



しまむら あん 嶋村 杏ちゃん (高田町)



さとう みのり 佐藤 実織ちゃん (気仙町)



しらかば すすか 白山 すず花ちゃん (高田町)



まつの けいた 松野 恵大くん (竹駒町)



かんの さとし 菅野 慧士くん (米崎町)



むらかみ だいぢ 村上 大地くん (高田町)



よしだ かいと 吉田 海澄くん (広田町)

主婦の目線で人権啓発活動に尽力 ～法務大臣感謝状伝達式～



(左から)戸羽市長、感謝状を手にする村上さん、泉支局長

伝達式は2月19日(金)、市コミュニティホールで行われ、昨年12月31日(木)をもって人権擁護委員を退任された村上温代さん(矢作町)に、盛岡地方方法務局水沢支局の泉利夫支局長から法務大臣感謝状が手渡されました。

村上さんは平成2年7月1日から昨年12月31日までの30年6ヶ月の長きに渡り、人権擁護委員として活躍。水沢人権擁護委員の役員を務めるなど、人権思想の普及や擁護、人権侵害の未然防止など、様々な活動にご尽力いただきました。

知っておきたい空き家のこと

第6回 ～空き家予防策 vol. 3～

2033年には日本中の3軒に1軒が空き家になると言われています。いわば多くの方が空き家の当事者になる時代がすぐにやってきます。空き家予防策の紹介も今回で3回目。今回は「空き家管理」について学びます。

家の寿命を伸ばす一番の方法は、人が住むことです。誰も住まない建物の劣化は驚くほど早く進みます。数年放置すると湿気や害獣の糞尿などで、そのままでは住めない状態になってしまいます。

そうならないためにも、空き家の定期管理をおすすめします。空き家の管理は多岐に渡りますので、以下のポイントを抑えながら自分なりの管理方法を検討してみてください。

- ◆換気…湿気対策として押入れなどの開口部を含めたすべての窓や扉を開けて60分程度(最低40分)換気する。
- ◆通水…サビや臭いの発生を防ぐために、すべての蛇口から1分程度水を流しっぱなしにする。
- ◆防犯チェック…侵入の形跡がないかを確認、すべての部屋の施錠を確認する。



◆建物の状態…壁のひび割れ、雨染み、窓の割れ、瓦のズレや破損がないか確認する。

◆庭木・雑草チェック…庭木や雑草の繁茂は近隣のトラブルになる可能性があるため、定期的に草刈り、剪定をする。



これらの管理を月に1回行うと保全に効果的です。現状は、知り合いの人などに空き家の管理をお願いしている例が多くみられます。

しかし、管理者の高齢化により、その管理が困難になる場合もあります。家族や親戚の他にも、民間の専門業者に依頼することも適正な管理方法のひとつです。それぞれに合った方法を、ぜひ家族で話し合ってみてください。

今回は賃貸、売却の際に苦労する人も多い「家財・遺品の整理」について学びます。

空き家は元々誰かの幸せな記憶が詰まった大切なお家です。空き家について正しく学んで、“負債”や“負担”でなくこれからの“資源”に変えていきましょう!

問い合わせ先

高田暮舎 ☎ 070 (2432) 1649
または 市役所観光交流課定住交流係 (内線 422)

教えて! SDGs

エスディジーズ



15 陸の豊かさを守ろう

15 山の豊かさを守ろう

どれほど自然の少ない都会に住んでいても、人間の暮らしはすべて、森や海、川や湖、そして多様な生き物たちに支えられています。しかし産業の発達にともなって、こうした自然が失われつつあります。地球上の貧困や飢餓などをなくすために開発は重要ですが、そのために私たちの生命を支えている自然環境が破壊しつくされてしまえば、この先、人間は生きていけなくなってしまいます。それでは元も子もありません。

人間を含めた全ての生物がこの地球で長く暮らすためには、自然環境と生物の多様性を守っていくことが必要です。ですが、一切の開発をやめ、元々あった自然に戻そうというのは無理があります。人間はこれまで自然の恵みを利用して生きてきたのですから、これからも長く自然の恩恵を受けられるよう、木を伐ったら植林する、希少な野生動物の売買を禁止するなど、様々な道を探っていかなければなりません。

◎すぐにでも私たちが出来ることは…

- ①紙の書類はできるだけ避ける。ティッシュペーパーやトイレトペーパーなど、紙の無駄使いをしないよう心がける。
- ②FSC® マークの付いた商品を買う。

※ FSC® マークとは…適切に管理された森林からの木材や、適格だと認められたリサイクル資源から作られた商品に付けられるマークです。



FSC®マーク ↑



年間4万種もの生物が絶滅し、1,300万畝もの森林が失われている。

※ 1,300万畝は東京都約59個分の面積に相当



一昨年の気仙地区植樹祭で植樹を行う子どもたち

慶弔 (2月16日~3月15日届け出分)

※届け出人が希望した人のみ掲載
※氏名は通常字体で掲載

◇おめでた()は保護者・字名

- ◎男の子
竹駒 吉田 彩人 (健二・滝の里)
◎女の子
高田 遠藤 寛奈 (司・鳴石)
田代 江真 (誠・中和野)
北島 あかり (善太郎・西和野)
広田 村上 祈莉 (太一・後浜)

◇お幸せに()字名

- 広田 白井幹太・大和田結月 (久保)
小西崇之・佐藤琴乃 (谷地)
小野勝己・吉田真紀 (羽根穴)
佐藤一輝・佐々木玲華 (泊)
佐々木快昌・千葉理恵 (小屋敷)

◇おくやみ()は年齢・字名

- 矢作 伊藤 ヨシエ (93歳・袖野)
横田 菅野 多美子 (87歳・西宿)
佐々木 喜善治 (94歳・砂子田)
及川 ミキ (80歳・舞出)
及川 シノブ (90歳・南行)
松野 日出俊 (85歳・滝の里)
中野 正信 (75歳・滝の里)
熊谷 岱三 (80歳・要谷)
岡本 幸子 (73歳・洞の沢)
及川 マサ子 (72歳・洞の沢)
吉田 守子 (77歳・鳴石)
松坂 春人 (90歳・東和野)
米崎 細谷 シヅ子 (84歳・地竹沢)
星 嘉子 (34歳・松峰)
小友 上野 梅子 (87歳・後谷地)
戸羽 恒輔 (82歳・唯出)
広田 津田 ヌヒコ (103歳・田端)
佐藤 キミ子 (91歳・羽根穴)
鈴木 慶子 (79歳・長船崎)
高橋 孝治 (87歳・袖野)

数字で見る陸前高田市(令和3年2月28日現在)

市内の火災救急活動(2月)
()は1月からの累計

- ◆建物 0件 (2件)
- ◆林野など 0件 (0件)
- ◆出動件数 70件 (167件)
- ◆搬送人員 66人 (163人)

市の人口(住民登録人口)
()は前月比 出生・死亡数は1月分

- 男性 8,982人 (-21人)
女性 9,619人 (+4人)
18,601人 (-17人)
(出生 6 死亡 27)
世帯数 7,643世帯 (+17世帯)

市内の交通事故(2月)
()は1月からの累計

- ◆人身事故 1件 (1件)
- ◆物損事故 28件 (80件)
- ◆負傷者 0人 (0人)
- ◆死亡者 1人 (1人)
- ◆飲酒運転 0人 (0人)

問い合わせ先

市地域包括支援センター
☎0192(22)8671

介護お茶のみ話 その77



介護予防教室『陽だまりクラブ』開催地区を募集しています!

コロナ禍が長期化し、高齢者の外出機会や社会的交流が減少することで心身機能の低下が心配されます。

地域包括支援センターでは、高齢者の社会参加の促進、健康寿命の延伸を目的に、各地区の公民館などで『陽だまりクラブ』を開催しています。どの会場からも笑い声や笑顔が溢れ、参加者からは「教室がある日は1日が楽しい」「久しぶりに大きな声で笑った」「体の痛みも忘れて夢中になった」などの感想が寄せられています。

住民同士のつながりができるのも魅力のひとつです。教室での集いをきっかけに、これまでに開催した多くの地区では、体操やお茶飲みなどの自主的な活動につながっています。

- 【内容】
◆実施回数：各会場8回コース(2週間に1回の頻度)
◆実施時間：各回1時間30分程度
◆主なプログラム：レクリエーション(スライドカーリング・



雷神公民館での陽だまりクラブ(ポールウォーキング)の様子

軽体操・脳トレなど、音楽療法、二ユースポーツ、ポールウォーキング、いきいき百歳体操、小物作り、薬についてのお話、認知症についてのお話、健康相談など。

※回数や時間は目安であり、各地区の要望に応じて決定します。また、新型コロナウイルス感染拡大の予防対策を徹底し、3密を避けたプログラムを選定しています。

心身の健康維持には、人とのつながりが一番大切なことだと言われています。そのきっかけづくりに『陽だまりクラブ』を活用してみませんか。興味のある人は、どうぞお気軽にお問い合わせください!

470 保健だより



『受けてください!』
がん検診

◆がん検診のすすめ

がん治療は日々進歩しており、新しい治療法も増えています。早期発見・早期治療により9割以上が治る病気です。それにもかかわらず、がんが日本の死因1位である状況が長年続いています。

早期のうちは無症状という特徴が、早期発見・早期治療を阻む要因のひとつです。

自覚症状がないからこそ、定期的ながん検診を受けることが大切です。

◆コロナ禍でも受診を!

がん検診の受診を控えることで、がんの発見を遅らせる可能性があります。

市では、安心して受診できるよう、スタッフのマスク着用と手指消毒の徹底、換気、会場各所の消毒などの感染症対策を行いながら、がん検診を実施しています。

◆市のがん検診はお得?

症状のない検診は保険の対象ではありません。市では、検診料の一部を助成し、がん検診を実施しています。例えば、胃がん検診(バリウム)は、5,000円~1万円程度の費用がかかりますが、市では1,000円で受けることができます。

◆市で行っているがん検診

- 【40歳以上が対象の検診】
- 胃がん検診：(毎年)胃部X線撮影(バリウム)
- 肺がん検診：(毎年)胸部X線撮影
- 大腸がん検診：(毎年)便潜血検査

【女性のみ対象の検診】

- 乳がん検診：(40歳以上・2年に1回)乳房X線撮影
- 子宮頸がん検診：(20歳以上・2年に1回)子宮頸部細胞診

◆がん検診の申し込み

4月中に各世帯へ、同じ世帯の対象者分の「各種検診申込書」を送付します。ぜひ、この機会に家族の皆さんでお申し込みください。

問い合わせ先

市役所保健課 保健係(内線241)



岩手大学・立教大学 共同運営 交流活動拠点

陸前高田グローバルキャンパスでは、今年度より「陸前高田イタリアルコロ大学」事業を始めます！

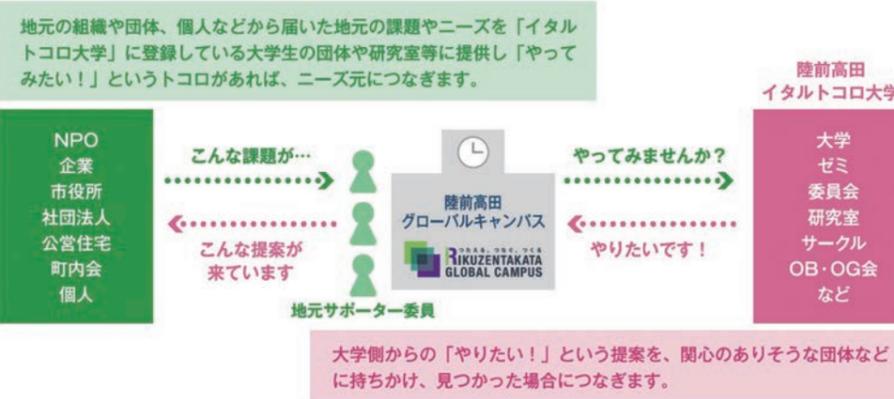
大学とお繋ぎします！ 陸前高田イタリアルコロ大学

「陸前高田イタリアルコロ大学」は、陸前高田市内外の住民や組織団体などの持つニーズ（求めていること）やシーズ（提供できること）と全国の大学生や大学教員などの「やりたい！」気持ちとのマッチングを図るしくみとして立ち上げるものです。

震災から10年、市内では様々な課題やニーズが存在します。一方で「関わりたい！」けど新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり何をしたいかわからないという学生団体も出てきています。「両者をつなぐ場が必要だ！」ということで作られたのが陸前高田イタリアルコロ大学です。

イタリアルコロ大学事業では地元元サポーター委員にも協力いただきながら、陸前高田市内外の個人・団体と大学をつなぎます。たとえば、「東京での販売会に協力してくれる大学生達はいないだろうか」、「一緒にオンラインイベントを企画・運営してくれる大学の研究室はないだろうか」など色々なニーズがあることでしよう。

全国イタリアルコロの大学が陸前高田市のつながれるように、また陸前高田市が全国イタリアルコロに広がっていくように、そんな希望が「イタリアルコロ大学」の名前には込められています。



※マッチングが必ず成立するわけではありません。あらかじめご了承ください。

陸前高田イタリアルコロ大学に ニーズや課題をお寄せください！

大学生や大学のゼミなどとともに取り組みたい課題やニーズをお持ちの方は、ぜひお寄せください！

左のQRコードをスマートフォンなどで読み込んでフォームに記入いただくか、下記のメールアドレスにご連絡ください。

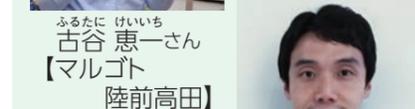
問い合わせ先

イタリアルコロ大学事務局
メール：takataitarutokoro@rtgc.jp



陸前高田
イタリアルコロ大学
ニーズ受付は
こちらから↓

すでに全国からゆかりのある7大学7団体+5研究室が登録してくれています。



陸前高田イタリアルコロ大学
事業企画実施委員会



開催します

いちサポ おおふなとルーム
働きたい人を応援！

これから働きたい49歳までの人や、その家族などを対象に、就職に関する個別相談スキルアップ支援を行います。参加は無料ですが、事前申し込みが必要です。

- ◆日時：4月21日(水)午前10時～午後3時
- ◆内容：【午前中】職業興味テスト【午後】個別相談
- ◆場所：キャリアパートナー（大船渡市盛町字館4・3・5号室）
- ◆申込期限：開催日前日
- ◆予約受付日時：平日午前10時～午後5時
- ◆申し込み・問い合わせ先

お知らせ

通学路の安全に関するお願い

子ども達の安全な登下校を見守るために

本年度から、スクールバス運行路線数の減少に伴い、徒歩および自転車通学する児童生徒が多くなります。

各校では安全教育を徹底しますが、ご家庭においても、道路の正しい横断の仕方、安全な自転車の乗り方など、基本的な交通ルールやマナーを確認するようお願いいたします。

また、日常的に行っている散歩や庭掃除などを通学時間に実施していただくなど、大人による見守り活動により、子ども

金融経済教育出前講座 もっと知っておきたいお金のこと

東北財務局盛岡財務事務所では、各学校、学童クラブなどにお伺いし、「子ども」のころから、お金のつき合い方について適切に判断する力や身に着ける「金融経済教育講座」や各種会合で金融詐欺犯罪未然防止などの出前講座を行っています。費用はかかりませんので、お気軽にお問い合わせください。

- ◆問い合わせ先：東北財務局盛岡財務事務所 ☎019(625)3353
- ◆挑戦してみませんか
国家公務員採用試験
人事院では、次の通り国家公務員採用試験を実施します。
- ◆試験名：①一般職（大学卒業程度）②一般職（高卒者）
- ◆試験日：①6月13日(日)②9月5日(日)

「けせん震災と昔の記憶」を公開しました

トナリノでは、地元の有志が集まり、気仙地域の昔の暮らしや、震災を経て未来へ思いをつないでいく人々のすがたを取材し、その様子をホームページで公開しています。

URL：https://kesenkoku.nanapre.com

◆問い合わせ先：トナリノ（松本） ☎0192(47)32287

けせん 震災と昔の記憶

図書館開館時間の変更について

4月1日(水)より、市立図書館の開館時間が以下のとおり変更になりました。

- ◆平日…午前9時～午後8時
 - ◆土、日、祝日…午前9時～午後7時
- ※休館日に変更はありません。皆様のご利用をお待ちしております。

問い合わせ先 市立図書館 ☎0192(54)3227

『気仙風土記』掲載終了のお知らせ

昨年の10月号から休止していた「気仙風土記」につきましては、諸般の事情により令和2年度をもって掲載を終了いたします。昭和31年から掲載が始まり、長きに渡り多くの皆さんにご愛読いただき、誠にありがとうございました。

問い合わせ先 市役所政策推進室政策広報係(内線173)

～ 学校給食センター～
今月のおすすめレシピ

さばのカレー焼き



材料 (約4人分)

- さば切身 (1切50g程度) …… 4切
- カレー粉 …… 小さじ1
- 酒 …… 小さじ1
- ① みりん …… 小さじ1と1/2
- 砂糖 …… 小さじ1と1/2
- こいくちしょうゆ …… 小さじ2

～魚をおいしく食べよう！～
魚は、臭みがあって苦手とする人もいるかも知れませんが、「さばのカレー焼き」はカレー粉を加えた調味料に漬け込んで焼くことで、魚の臭みが消え、魚が苦手な人でも食べやすいメニューとなっています。さば以外にも様々な魚でアレンジできますので、ご家庭でもぜひ作ってみてください。

作り方

- ① ①調味料をすべて混ぜておく。
- ② さばを①の調味料に15分程漬け込む。
- ③ グリルなどで魚の皮がパリッとなるまで焼く。

問い合わせ先 市学校給食センター ☎ 0192(55)2073

サラの
Thankyou! SINGAPORE

～② 新しいことを始める季節～

市の国際交流員のサラ・チュウさんが、出身国シンガポール共和国の様々な情報を紹介します。



シンガポールは、年間の最高気温が30℃前後、最低でも25℃前後と1年中真夏のような気候です。そのためシンガポールには、四季がなく日本のような「春」もありません。

日本では、学校の入学式や、職場の入社式などの多くが4月に行われ、春は「新しいことを始める季節」と言えるのではないのでしょうか。

一方、シンガポールでは、学校や職場によって年度の始まりがばらばらです。小、中学校と「ジュニアカレッジ」と呼ばれる高等学校は1月、「ポリ

テクニク」と呼ばれる高等専門学校は4月に始業式が行われ、一部の大学は8月にスタートしますが、始まる時期は学校によってばらばらです。また会社については入社時期が決まっています。

では「シンガポールでは、新たにスタートを切る時期はいつ？」と疑問に思う人もいると思います。シンガポールの多くの人々は、新年と共に「新しいことをしよう！」と決めます。中国系シンガポール人なら「春節」と呼ばれる旧正月を祝う行事があり、日本の正月と同じで1年の始まりにあたり、大きなイベントなども行われ賑やかになります。

形は日本と違いますが、シンガポールにも「新しいことを始める季節」としての「春」があります。



シンガポールの春節の様子

東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンとしてシンガポールを応援します！



※市内医療機関および金融機関等の事業所で、広報りくぜんたかたを購読希望の場合は左記発行元へご連絡ください。
※広報りくぜんたかた4月号(No.1097)の印刷経費は1部47.0円(税抜き)、発行部数は7,550部です。